学校番号	411

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	（学） 世界史演習	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	世界史探究（実教出版）						
副教材等	最新世界史図説タペストリー二十三訂版（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

主に、中世時代以降の世界の歴史を、２年次の探究で学習した内容を基礎に、「グローバル化」の観点から横断的かつ主体的に学習します。世界と日本の緊密な結びつきと歴史の流れ・動きを学び、社会の変化や時代の発展について考察・理解を深めつつ、世界・日本は今後どのような方向にむかって動いていくのかを考察する多面的・多角的な歴史的思考力を身につけてください。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
　世界史の中に出てくる事件、人物を時代、ジャンル別に理解している。
【思考力、判断力、表現力等】
　諸地域世界の交流、国際関係の展開の視点にも考慮しながら、世界史の中に日本を位置づけつつ、国際感覚を涵養し、各時代の特色及びその変遷にかかわる総合的な考察や、それに基づく歴史的思考力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
人類が直面する課題を、政治・経済・文化・生活など多様な視点から、習得した世界史の知識、技能をもとに考察し、その解決法を発見しようとしている。また、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を身につけようとしている。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	中世から近現代を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。	現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	中世から近現代を中心とする世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。古代から近代を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期　四月～七月	第６章　イスラーム圏の拡大とヨーロッパ社会の変	１.イスラーム圏の多極化と展開 ２．ラテン=カトリック圏の拡大 ３．ラテン=カトリック圏の動揺と秩序の変容	a:西アジア社会の動向とアフリカ･アジアへのイスラームの伝播,ヨーロッパ封建社会とその展開などを基に,海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解している。 b:諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因,結果や影響,事象相互の関連,諸地域相互のつながりなどに着目し,主題を設定し,諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き,諸地域へのイスラームの拡大の要因,ヨーロッパの社会や文化の特色などを多面的･多角的に考察し,表現している。 ｃ：西アジア社会の動向とイスラームの伝播，ヨーロッパ封建社会とその展開について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。	･定期テスト ･ワークシート ･単元テスト	･定期テスト(資料読解･論述問題) ･ワークシート	･討論や発表 ･ワークシート
	第７章　中央ユーラシアと諸地域の交流・再編	１.中央ユーラシア諸民族と東アジアの変容 ２．モンゴル帝国の成立 ３．東南アジア諸国の再編 ４.海域世界の展開と大交易圏の成立 ５.海域世界の展開と大交易圏の成立	a：宋の社会とモンゴル帝国の拡大などを基に,海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解している。 b：諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因,結果や影響,事象相互の関連,諸地域相互のつながりなどに着目し,主題を設定し,諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き,中国社会の特徴やモンゴル帝国が果たした役割などを多面的･多角的に考察し,表現している。 c：海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりについて,よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究,解決しようとしている。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについて自覚している。	･定期テスト ･ワークシート ･単元テスト	･定期テスト(資料読解･論述問題) ･ワークシート	･討論や発表 ･ワークシート

七月	第8章 大交易時代	1．明と東アジア 2．ヨーロッパの海外進出 3．大交易時代の海域アジア	a：アジア海域での交易の興隆，明と日本・朝鮮の動向，スペインとポルトガルの活動などを基に，諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出を構造的に理解している。 b：諸地域の交易とヨーロッパの進出に関わる事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，アジア海域での交易の特徴，ユーラシアとアメリカ大陸間の交易の特徴とアメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出について，多面的・多角的な考察や深い理解を通して他国や他国の文化を尊重することの大切さについて自覚している。	・定期テスト ・ワークシート ・単元テスト	・定期テスト(資料読解・論述問題) ・ワークシート	・討論や発表 ・ワークシート
2学期八月	第9章 アジア諸地域の帝国	1. 中央ユーラシアと西アジアの帝国 2．南アジアの帝国 3．東南アジア諸国の発展 4．清と東アジア	a：アジア海域での交易の興隆，明と日本・朝鮮の動向，スペインとポルトガルの活動などを基に，諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出を構造的に理解している。 b:諸地域の交易とヨーロッパの進出に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，アジア海域での交易の特徴，ユーラシアとアメリカ大陸間の交易の特徴とアメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについて自覚している。	・定期テスト ・ワークシート ・単元テスト	・定期テスト(資料読解・論述問題) ・ワークシート	・討論や発表 ・ワークシート
	第10章 近世ヨーロッパの形成と展開	1．ルネサンスと宗教改革 2．主権国家体制の成立 3．激化する覇権競争 4．近世ヨーロッパの社会と文化	a：宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争，大西洋三角貿易の展開，科学革命と啓蒙思想などを基に，主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大を構造的に理解している。 b：ヨーロッパ諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，宗教改革の意義，大西洋両岸諸地域の経済的連関の特徴，主権国家の特徴と経済活動との関連，ヨーロッパの社会や文化の特色などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについて自覚している。	・定期テスト ・ワークシート ・単元テスト	・定期テスト(資料読解・論述問題) ・ワークシート	・討論や発表 ・ワークシート

九月 十月	第11章　産業革命と大西洋革命	1．イギリスの産業革命 2．南北アメリカの革命 3．フランス革命とナポレオン帝政	a：産業革命と環大西洋革命などを基に，国民国家と近代民主主義社会の形成を構造的に理解している。 b：大西洋両岸諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，産業革命や環大西洋革命の意味や意義などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：産業革命と環大西洋革命について産業革命によっておこった変化のうち，世界史上の転換点として考えられるものについて，さまざまな技術革新，資本主義と社会主義の関係，国際関係の再編などをふまえながら，主体的に追究しようとしている。	・定期テスト ・ワークシート ・単元テスト	・定期テスト（資料読解・論述問題） ・ワークシート	・討論や発表 ・ワークシート
	第12章　近代ヨーロッパとアメリカの国民国家	1．ウィーン体制と1848年の革命 2．19世紀後半のヨーロッパとアメリカ 3．19世紀のヨーロッパ・アメリカの社会と文化	a：自由主義とナショナリズム，南北戦争の展開などを基に，国民国家と近代民主主義社会の形成を構造的に理解している。 b：大西洋両岸諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，自由主義とナショナリズムの特徴，南北アメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：国民国家と近代民主主義社会の形成について自由主義・ナショナリズム・社会主義のうち，のちの時代に最も影響を与えることになると考えるものについて，自身の価値観に照らし合わせながら，よりよい社会の実現を視野に，主体的に追究しようとしている。	・定期テスト ・ワークシート ・単元テスト	・定期テスト（資料読解・論述問題） ・ワークシート	・討論や発表 ・ワークシート
十一月 十二月	第13章　地球をおおう帝国主義と世界諸地域の抵抗	1．ヨーロッパの帝国主義 2．アメリカの帝国主義 3．西アジアの改革運動 4．アフリカの分割と抵抗 5．インドの植民地化と民族運動 6．東南アジアの植民地化と民族運動 7．東アジアの国際関係の再編	a：国際的な分業体制と労働力の移動，イギリスを中心とした自由貿易体制，アジア諸国の植民地化と諸改革などを基に，世界市場の形成とアジア諸国の変容を構造的に理解している。 ・第二次産業革命と帝国主義諸国の抗争，アジア諸国の変革などを基に，世界分割の進展とナショナリズムの高まりを構造的に理解している。 b：列強の対外進出とアジア・アフリカの動向に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，世界経済の構造的な変化，列強の帝国主義政策の共通点と相違点，アジア諸国のナショナリズムの特徴などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：世界市場の形成とアジア諸国の変容，世界分割の進展とナショナリズムの高まりについて，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。特にアフリカの現状をふまえてそこに至る歴史的経緯を整理しながら，自身の生活や経験とも関連付けて，主体的に追究しようとしている。	・定期テスト ・ワークシート ・単元テスト	・定期テスト（資料読解・論述問題） ・ワークシート	・討論や発表 ・ワークシート

	第14章　第一次世界大戦と諸地域の変容	1．第一次世界大戦 2．ヴェルサイユ体制と国際協調 3．アジアのナショナリズムの台頭 第15・16章に関しては世界史探究で詳細に行っているため、カットします。	a：第一次世界大戦とロシア革命，ヴェルサイユ・ワシントン体制の形成，アメリカ合衆国の台頭，アジア・アフリカの動向とナショナリズムなどを基に，第一次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解している。 b：第一次世界大戦と大戦後の諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，第一次世界大戦後の国際協調主義の性格，アメリカ合衆国の台頭の要因，アジア・アフリカのナショナリズムの性格などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：第一次世界大戦の展開と諸地域の変容について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。とりわけ、第一次世界大戦がそれまでの戦争とどのような点で異なっているのか，主体的に追究しようとしている。	・定期テスト ・ワークシート ・単元テスト	・定期テスト（資料読解・論述問題） ・ワークシート	・討論や発表 ・ワークシート
一月	第17章　世界経済の展開	1．冷戦と経済統合 2．第三世界の経済 3．産業構造と社会の変化 4．グローバル化と新自由主義の時代	a：先進国の経済成長と南北問題，アメリカ合衆国の覇権の動揺，資源ナショナリズムの動きと産業構造の転換，アジア・ラテンアメリカ諸国の経済成長と南南問題，経済のグローバル化等を基に，格差是正の取組と課題を理解している。 b：国際競争の展開と経済格差に関わる諸事象の歴史的背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，先進国による経済援助や経済の成長が見られた地域の特徴，諸地域間の経済格差や各国内の経済格差の特徴，経済格差と政治や社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：格差是正の課題と取組について，冷戦と南北問題がもっていた問題点をそれぞれ挙げたうえで，どちらが先に解決すべき問題だと考えられるか，歴史的事実を根拠にしながら主体的に追究しようとしている。 ・２度の石油危機とベトナム戦争がどのような世界経済の変化をもたらしたのかを整理したうえで，そのうち最も重要だと考える事柄について，主体的に追究しようとしている。	・定期テスト ・ワークシート ・単元テスト	・定期テスト（資料読解・論述問題） ・ワークシート	・討論や発表 ・ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度